

1. 教育理念

豊かな人間性と確かな技術を持った人材を育成する。

2. 教育目標

- ・ 相手の立場に立って考え行動できる人物の育成
- ・ 生涯にわたって教養を高め、自己啓発できる人物の育成
- ・ ホテル・観光業界で活躍できる人材の育成
- ・ 地域社会・国際社会で役割を果たせる人材の育成

3. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ・ 来年度を見据えた募集体制を構築する。
- ・ 留学生の日本語能力の底上げと強化を図る。
- ・ 学校の教育目標に沿った指導の中で、学生一人ひとりの希望に寄り添い、キャリア教育に力を入れていく。

4. 評価基準

適切	ほぼ適切	やや不適切	不適切
4	3	2	1

5. 評価項目の達成及び取り組み状況

(1) 教育理念・目標

	評価項目	評価
1	教育理念・目的、育成人材像は定められているか	4
2	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構造を抱いているか	3
3	学校の理念・目的、特色、育成人材像、将来構想等が学生、関係業界、保護者等に周知されているか	2
4	学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

- 課題
- ・ 学校の目的、理念を留学生にいかに理解させるか。
 - ・ 今後さらに企業をはじめ地域社会とのつながりを増やし、ホテル、観光業界の現状に則したニーズを踏まえ、カリキュラムの修正、充実を図る。
 - ・ 若い世代の留学生が中心であり、社会人基礎力をいかに身につかせるかが課題。入学時より根気よく、様々なアプローチを試みる。

(2) 学校運営

	評価項目	評価
1	目的に沿った方針、運営方針に沿った事業計画、体制等が策定されているか	3
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3
3	人事、給与に関する規定等は整備されているか	3
4	教育活動等に関する規定等は整備されているか	3

(3) 教育活動

	評価項目	評価
1	教育理念に沿った教育課程の編成、実施方針等が策定されているか	4
2	学科などのカリキュラムは体系的に編成されているか	3
3	関連分野における実践的な職業教育（産業連携によるインターンシップ、実技、実習等）が体系的に位置づけられているか	4
4	授業評価の実施、評価体制はあるか	2
5	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
6	資格取得に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	2
7	人材育成目標の達成に向けた授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3
8	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	3

- 課題
- ・ 資格取得に対する意識づけをしっかりとさせ、講師間でも共有していく。
 - ・ JLPT、TOEIC IP、BJTビジネス日本語能力テスト、サービス接遇検定は受験必須とし、それぞれ対策を強化していく。
 - ・ 変化し続ける業界の動向や学生の特性をしっかりと捉えてカリキュラムの策定を行い、職員の教育体制も整えていく。

(4) 学修成果

	評価項目	評価
1	就職率の向上が図られているか	3
2	資格取得率の向上が図られているか	2
3	退学率の低減が図られているか	3
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

特記事項

- ・ 卒業後も支援体制を継続して卒業生の動向を把握し、必要に応じて面談、サポートを行った。就職希望者のうち就職率（内定者）は85%を超え、未内定の学生についても引き続きサポートを継続中
- ・ インターシップ先で頂いた評価について学科で集約している。
- ・ 全体としては、高い出席率を保持している。一部出席率が低い者がいるが、指導を重ね、遅刻、欠席が改善された。

課題

- ・ 早期より、就職への意識を持たせ、業界研究や講義を通して将来をイメージすることで主体的に就職活動が行っていきけるよう導く。

(5) 学生支援

	評価項目	評価
1	就職等進路に関する支援体制は整備されているか	4
2	学生相談に関する体制は整備されているか	3
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
5	卒業生への支援体制はあるか	4
6	社会のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3

- 特記事項
- ・ 2020年に学科名変更を行い、観光ビジネス学科として初めての卒業生を出したが2020年10月生は全員卒業までに就職が決まり、2021年4月生も就職希望者のうちほぼ全員が内定を受けることができた。（一部未内定者は活動継続中）
 - ・ 卒業生についても継続してフォローをしており、転職のサポートも行っている。

(6) 教育環境

	評価項目	評価
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	3
2	学内外の実習、インターンシップについて十分な教育体制を整備しているか	4
3	防災に対する体制は整備されているか	3

- 特記事項
- ・ 専門科目の実習のための備品等は少しずつ整えられてきた。それらを用い、今出来得るレストランサービスの実習等を増やした。

- 課題
- ・ 実習室については長期計画で、その他の施設設備についてもさらに充実させていく。
 - ・ 昨年度、今年度のインターンシップ先の事業所と関係を持続させる。また、企業説明会や外部の講師による特別講義などを取り入れていく。

(7) 学生の受け入れ募集

	評価項目	評価
1	学生募集は適正に行われているか	3
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
3	学納金は妥当なものとなっているか	3

- 特記事項
- ・ 学校訪問時に学科の教育目標について説明をしっかりと行うとともに、在校生の出身校に対しては、学生の教育成果等を適宜伝えるようにした。

- 課題
- ・ HPやfacebookに加えLine@等のツールを利用し、わかりやすい情報発信に取り組む。
 - ・ 一昨年に引き続き、昨年度はコロナで入国ができなかったことにより、対象の留学生在がほぼいないため、来年度は4月入学予定者が0となった。
 コロナにより最長3年待機していた留学生在が今年度一気に入国を果たしたが、本学の特徴について周知に努め、質の高い学生を確保していく。
 - ・ 10月生の受け入れについて一層の周知を図る。

(8) 財務

	評価項目	評価
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるのか	2
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4

- 課題
- ・ 学生数が激減したことで、依然財務状況は厳しい状況であるが、教育の質を維持し、学生の満足度を上げることで、今後へ繋げていく。

(9) 法令等の遵守

	評価項目	評価
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3
4	自己評価結果を公開しているか	4

(10) 社会貢献・地域貢献

	評価項目	評価
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	2
2	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	2

- 課題
- ・ 本校で実現可能な社会貢献・地域貢献事業を企画し、実施していく。

